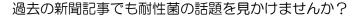
薬の伝言板 ~抗菌薬について~



抗菌薬ってご存知ですか?普段は、なかなか聞き慣れない言葉かもしれませんね。抗菌薬とは細菌を 壊したり、増えたりするのを抑えたりする薬のことを指します。その中でも微生物が作った化学物質 を抗生物質、抗生剤ということもありますが、今回の薬の伝言版ではすべてまとめて抗菌薬として呼 びたいと思います。

抗菌薬は細菌による感染症を治療してくれる大切な薬で、過去にたくさんの抗菌薬が開発されてきま

した。しかし、抗菌薬が安易に使われることで細菌が耐性化し、その耐性菌によって 苦しむ患者さんの数も増えてしまいました。残念ながら、新しく開発される抗菌薬の 数は年々減っています。そこで、耐性菌を減らすために、今ある抗菌薬を大切に、 正しく使うことが必要とされているのです。



現在、この耐性菌によって世界で年間70万人が死亡しているのです。



この細菌の「耐性化」を起こさないために、私たちには何ができるのでしょうか? 薬については、こんなポイントを押さえておきましょう。

1. ウイルスを原因とする『風邪』に抗菌薬は効きません!

一般的に、『風邪』とはウイルスが原因でいろいろな症状を起こします。

抗菌薬は、文字通り細菌と戦う薬です。細菌とウイルスは全く別の病原体ですから、抗菌薬はウイル スには効きません。ウイルスによって起こる風邪には、抗菌薬を飲んでも意味がないのです。





これまで抗菌薬をもらった時、指示された通りに最後まで飲みましたか?実はこればとても大切なことです。そしてその飲み方も様々です。1日1回飲む薬もあれば、1日4回飲む薬もあります。1日4回飲む薬を1日1回だけ飲んでも効果がありません。中途半端な治療となるだけでなく、細菌が抗菌薬の効きにくい形へ変化してしまい、今後の治療がしにくくなることもあるのです。

3. 自己判断でやめない!また抗菌薬を残しておいて、後から飲むこともやめましょう!

症状がよくなったからといって途中でやめてしまうと、落ち着いていた症状が出てきてしまう可能性 もあります。抗菌薬を必要とする期間は原因、病気によって大きく異なり、月単位、年単位で抗菌薬を 飲む必要がある場合もあるのです。また残った薬を取っておいて後から飲むのは、病気に合わなければ 効かないだけでなく、思わぬ副作用が出てしまう可能性もありますので、絶対にしないで下さい。

4. もし、副作用が出てしまったら…?

もし副作用で飲み続けることをためらうことがあれば、無理せず医師や薬剤師に相談 することをお勧めします。

このように、抗菌薬はどこにおきた感染症なのか、どの菌によるものなのかなどから最適な抗菌薬を 判断して処方されます。それぞれ薬によって服用方法が異なりますので、医師や薬剤師の説明をきち んと聞き、正しく服用しましょう。

処方された飲み方を守ることは、あなたの病気を確実に治すため、抗菌薬による副作用を減らすため、 とても重要なのです。